



9月号では、「よみきかせのかい」を代表して金谷由美子さん取材し、絵本の読み聞かせに込めた想いを話していただきました。

問1 「よみきかせのかい」の活動内容などを教えてください。

「よみきかせのかい」は平成14年に発足してから、月1回の福祉センター図書室での読みきかせ会に加え、平成17年から始まった町のブックスタートで、赤ちゃん達へ読み聞かせをし、お母さん達に読み聞かせの大切さや重要性をお伝えしています。

平成19年から移動図書が始まり、福島小学校で読み聞かせを行っています。

また、毎年町民文化祭や健康フェスティバルでも読み聞かせ会を開催しており、要望に応じて、保育所や小学校へ読み聞かせの出前を行っています。



「よみきかせのかい」は現在5人で活動しており、1回30分程度で、会員で絵本や紙芝居を使っておはなしをします。絵本は自分の家にある本や図書室にある本、リクエストがあった本を使っています。来て下さるお母さん方にもってお願いして、絵本を読んでもらうこともありますよ。

絵本を読んで聞かせること他に、手遊びなどを行うこともあります。